



# Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2023年7月 vol.22

『さあ本を探索に行こう!』

新緑と、まばゆい陽射しを浴びながら新しい本との出逢いを求めて、あなたはどこへ? 図書館、古本屋、それとも子どもと手を繋ぎ「こども本の森 中之島」? 私はお気に入りの「けいぶんしゃ」と「誠光社」と…。身近には「オアシス文庫」もあります。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となり、大好きな京都の本屋さんへも行きやすくなりました(#^\_^#)自由に本を探しに行ける喜び、好きな本を手でできる幸せを実感しましょう(^.^)迷っているあなた、OmB職員紹介本を探索のヒントにGO!! 今回は特別号としてOmB vol.22 Plusも同時発行、法人本部:吉本部長、神田部長から「お勧めの一冊」をご紹介します(目録) (教育委員会 副委員長:徳廣波江)

## ひとり歩きの会話集 ミャンマー語 / 森川 亮

### グループホーム オアシスキズリ / 介護士(特定技能) ニン・サン・ルン

ミンガ ラバー ジャマイエナメカ ルン ピパデ(皆さま こんにちは ルンです) 私が紹介したい本は「ひとり歩きの会話集 ミャンマー語」です。私は3年前に



ミャンマーから技能実習生として日本に来ました。日本人職員と話をしたり美味しい日本の料理を味わったりして、日本が好きになりました。日本の皆様にもミャンマーの素敵な場所や美味しい料理を知ってほしいと思いこの本を選びました。



この本には祖国の地図や料理、ミャンマー語などが紹介されていて、ミャンマー語にはルビついているので分かりやすいです。

是非皆様にもミャンマーのことを知ってもらい、少しでも関心を持ってもらえたら嬉しいです。興味のある方はご一読をいただけますと幸いです。

・次回⇒グループホーム オアシスキズリ / 介護士(特定技能) ニン・ヌン・ネム(ミャンマー)

## アムリタ(上)(下) / 吉本 ばなな

### 管理部 / 経理 平郡 絢子

学生の頃に、吉本ばななさんが好きで著者の本をよく読んでいました。著書の中では「キッチン」「TUGUMI」が有名で、その2冊とも好きですが、なぜかふと読みたくなり何度も繰り返し読んでいるのが今回ご紹介する「アムリタ」です。



主人公の朔美は父、妹を亡くし、自身は頭を打って記憶をなくすという壮絶な人生を送っていますが、彼女自身は淡々と周りで起こる出来事を受け入れ、どこかあっさりとしているけど生きることを楽しんでいる、そんな朔美が魅力的に描かれています。

私自身が身近な人の死を初めて経験した時に、生きること、死ぬことについてよく考えていたことがあり、その時にこの本に出会いました。

生きる意味や死ぬことへの恐怖を考えすぎてしまうこともあるけれど、ただ、今この瞬間を楽しんでいればいいのかもしれないと心が軽くなったのです。

タイトルの「アムリタ」は神様が飲む水という意味で、生きていくということとはよくよく水を飲むようなものでもあります。この言葉がとても印象的です。読んだ後に心が温くなる1冊です。



・次回⇒デイケア オアシス寿安 / 課長 吉田 孝之

## 眠れなくなるほど面白い 自律神経の話 / 小林 弘幸

### デイケア オアシス寿安 / 介護士 酒井 沙也加

体に謎の不調があり、ネットで検索すると『自律神経』という言葉をよく目にします。



「自律神経とは一体なんなのか?」そう思い、手にしたのがこちらの本でした。

テーマごとに見開きで完結するような構成で、とても読みやすかったです。



『自律神経は乱れるものだ』と最後に書かれているように、色々なことから影響を受けて、容易にバランスが変化するものと考えた方がいいのですね。それだけに、日頃のちょっとした動作や習慣を工夫することで、安定させることも可能なのだと思いました。

“何だか最近疲れが抜けないな”と感じている方には、是非手に取っていただきたい本です。

・次回⇒デイケア オアシス寿安 / 介護士 吉田 由美

## 隠蔽捜査 / 今野 敏

### グループホーム オアシス平野 / 介護士 榎本 英樹

今回ご紹介する今野敏さんの「隠蔽捜査」は、警察庁のキャリア官僚が活躍する小説です。



主人公:竜崎伸也は東京大学法学部を卒業、キャリアを重ね、警察庁長官官房総務課長として登場します。「東大以外は大学ではない」と言い放ち、エリート意識の塊のような人格の持ち主です。

小説冒頭で殺人事件が起き、犯人が捕まり自供しますが、犯人の人物像や犯行動機が描かれる事はありません。

上層部が事件を有耶無耶にしようとするのですが「エリートは、特権と共に国民に対して大きな義務も付きまとう」と考える竜崎が原理原則と強い理念を持って組織に真正面から立ち向かう姿、そして、家族の不祥事によりキャリアの立場が危うい状況の中「どんなに辛くても耐えなければならない時がある。それが生きていくという事だ」という生き様に触れ、「唐変木で変人」な竜崎という人物に一気に引き込まれてしまう、そんな一冊です。(吉川英治文学 新人賞受賞作)



・次回⇒グループホーム オアシス平野 / 介護士 神野 幸子

## 「心」が分るとモノが売れる / 鹿毛 康司

### 老健 配食 / ドライバー 越智ひとみ

【「心」が分るとモノが売れる】という本を紹介し、モノが売れる、と書いているのでビジネス書みたいですが、この本はとて読みやすい実用書です。人の行動や思考は無意識に成り立っていて、必ずしも合理的な判断をしている訳ではない。そこには「心」が関係しているんです。鹿毛さんが実践してきた、顧客の「心」の発見方法や「心」を探るスキルがこの本に書いてあります。

「マーケティングとは、人に向き合い、人に喜びを提供すること、そして心を探ること」これは介護のお仕事にも通じるものがあると思います。

「その方が何故そんな行動をしたのか？」を自分の主観で考えるのではなく、事実を拾い集めてみると、その方自身も気付いていない不可思議で矛盾した行動であったり。(そこに、その方の心理が隠れている?)

『“ご利用者様の心に寄り添う”とはこれだ』と思いました。でも、その心のツボというのは簡単に見つからないんですよ(笑)それも含めて、人と関わる仕事ができることに改めて感謝です。目からウロコな内容がたっぷりの素敵な本をおすすめします。

・次回⇒老健 配食 / ドライバー 藤岡 亜矢子



## 15歳のテロリスト / 松村 涼哉

### 老健 オアシス デイケア・ロング / 介護士 川井 ゆかり

「未成年犯罪をどう裁くか」難しい問題がテーマの作品です。ネットで犯行予告があり、事件が起きる。それは少年の犯行で…。

思春期の不安定な感情が表現され、被害者だけでなく加害者側の心情も細かく描かれており、気持ちグッと入り込みました。

私にも思春期真っ只中の子どもがいます。今、ネット社会では誹謗中傷などを簡単に書き込むことができ、犯罪をしている感覚が分からなくなっています。

人それぞれ、いろんな想いがあってもいいと思いますが、言葉一つ一つに対し、責任を持って欲しいと思います。

もし、子どもが被害者や加害者側になったら、人としてどの様に対処したらよいか一緒に考えてあげたいと思います。

・次回⇒老健 オアシス デイケア・ショート / 介護士 満山 律子



## adabana 徒花 / NON

### 特養オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 外越 隆太

友情とは何かを問う衝撃のサスペンスです。

田舎町で起きた女子高生殺人事件。被害者は女子高生の五十嵐真子。犯人と自首してきたのは同じ高校に通う親友の藍川美月。

ただ、どこか様子がおかしい。事件発生から遡って、少しずつ真相が明らかになっていきます。

何故、親友を殺害したのか? 自首してきた美月の真の目的とは何か?

正直、内容は悲慘過ぎて読むのがしんどくなるぐらい号泣し、読み終わると放心状態になりました。

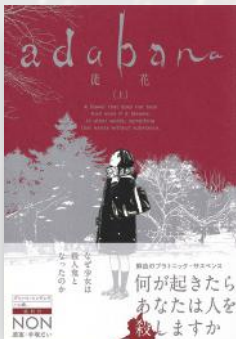
なんで幸せになれへんかったんやろ?

なんでこんなことが起きてしまったんやろ?

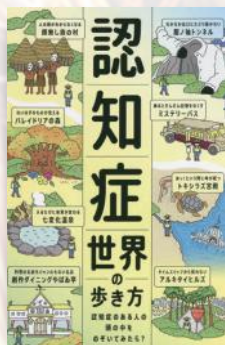
と、色々考えさせられる作品です。画力もすごく高く、上、中、下の3巻だけなので、かなり読みやすいです。

サスペンス好きの方には是非読んでいただきたい作品です!

・次回⇒特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 木村 マリ



## オアシス文庫 recommend



私がこの本を選んだ理由は、認知症のことをもっとよく知りたいと思ったからです。認知症の不思議な世界が理解できると同時に、私たちが生活する上でどれだけ複雑な脳処理を重ねているかが理解でき、脳の凄さに驚きました。

私が何気なく行っている買物の「会計」も、いくつもの工程を瞬間に判断し行動に移すことが可能なのは、誤作動一つ起こさず脳が理解しているからであり、逆に、ひとつ踏くと全てが滞ってしまうといった認知症の方が生きる世界を理解することができました。

現場の業務をしていても、隣の人の飲み物や食べ物を取ってしまう利用者様に「なんで取るの?」と聞いてしまうのですが、「それは本人も分からない」ということが理解できました。

認知症を全て理解した上で対応するのは難しいと感じます。

実際、私も、勤務中に何度も同じことを繰り返されると口調が荒くなってしまふことがあります。勤務が終わると「また荒くなったな」と罪悪感の連続で、悩むこともあります。

ただ、悩んでいるのは私だけではなく職場の皆さんも同じだと思うので、今後も職員と悩みを話し合いながら利用者様に安心、健康を提供していきたいと感じました。

職員の皆様、是非、手に取って読んでみてください。  
(教育委員会: 豊留 みずき)

### 蔵書ご案内

認知症世界の歩き方 / 寛 裕介

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出できます▶



## 編集後記

今号は、7本の数珠繋ぎが合計150名を超えた区切りの特別号。

これから50名を超える毎にオアシス役員を中心に所縁の皆さまより、お薦めの一冊をご紹介いただきます。どうぞご期待ください。

今号も、心の本あり、体の本あり、サスペンスあり…気になる本がいっぱいです!

そしてついに海外実習生からも(嬉)♪。ご縁あってオアシスで働いていただい

るスタッフさんの国々について、少しでも知りたいです。

ご寄稿者の越智さんとお話したのですが、ご紹介いただいた本の作者: 鹿毛さんは、あの有名な「消臭力〜」のCMを作った方だそうです。こういった背景(想い)を知ること(寄り道)も、読書の楽しさですね。

良かったら(^^) <<https://dmi.jaa.or.jp/general-browse/view/1685>>



教育委員会

(教育委員会: 中島美和子)